

2025 年 5 月 21 日

各 位

教育研究所所長 手嶋 將博
研修部主任 小林 稔

『教育研究所 紀要』第 34 号の論文募集について

下記のとおり、『教育研究所 紀要』第 34 号の論文を募集します。ご希望の方は、寄稿申込書（所定、添付）にてお申込みください。なお、(1) の「特集テーマ」に関する論文は、テーマとの整合性について論文概要を検討させていただき、執筆の可否を決定いたします。

記

1. 募集内容

(1) 特集に関する論文

- ① 特集テーマ 「教育DXの現状と課題」
- ② 執筆分量 15,000 字以内
- ③ 趣旨

教育 DX は、一般的に「データやデジタル技術を活用して教育や学校を変革すること」とされ、現在、文部科学省では、次の 3 つの柱で教育 DX の推進を図ろうとしている。すなわち、「1. 教育データの意味や定義を揃えること（標準化）、2. 基盤的ツール（MEXCBT、EduSurvey）の整備を図ること（ツール）、3. 教育データの分析・利活用の推進や、教育データ利活用にあたり自治体等が留意すべき点の整理をすること（利活用）。」である。一方、今後ますます発展する高度情報化社会においては、ICT スキルが求められる社会に対応することが必要不可欠であり、すでに学校内ではさまざまな切り口での実践が行われている。具体的には、オンライン教育の推進、教員の負担軽減、個別最適な学びの充実、デジタル社会を見据えた教育実践など、いくつかの視点が想定されるとともに、それらにはメリットもあれば、費用負担や個人情報の取り扱い、あるいは、ネット上のトラブルや教員の ICT 活用指導力等の課題等が考えられる。

そこで、こうした状況に鑑み、今号の特集では、「教育DXの現状と課題」の展望に関する論文を募集することとした。

教員養成・研修など、「自己調整学習・自由進度学習」をどのように構築していくことが可能なのかに関する、さまざまな視点からの積極的な提言や論考を期待したい。

(2) 自由研究論文・実践研究 等

執筆分量

研究論文・実践研究：15,000 字以内（頁の書式は 20 字×40 行×2 段）

その他：10,000 字以内（頁の書式は同上）

- 2. 申込締切日 2025 年 6 月 20 日（金）厳守
- 3. 原稿締切日 2025 年 9 月 20 日（土）厳守
- 4. 投稿申込先 越谷校舎 教育研究所（内線 2620）／E-mail : kyokenz@bunkyo.ac.jp

※申込の際は、別紙『教育研究所 紀要第 34 号 寄稿申込書』に必要事項をご記入の上、

- ① 10 号館 2 階の教育研究所に直接提出
- ② 3 号館 1 階受付内「教育研究所メールボックス」に投函
- ③ 上掲メールアドレスに、申込書 Word ファイルをメール添付にて送信
（教育研究所 HP よりダウンロードできます。<https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>）

①～③のいずれかの方法で、6 月 20 日（金）までにお申込み下さい。

以上